

兵庫県但馬水産技術センターだより

貝毒情報(イワガキ) TKD-26-02 号

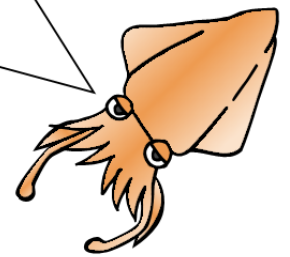
平成 26 年 7 月 7 日発行

貝毒原因プランクトンの調査を 7 月 7 日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】・下痢性貝毒の原因となるプランクトンが散見されましたが、注意の必要な密度 (50,000 個数/ℓ以上) を大きく下回る低密度でした。

【検査結果】

年月日 (採水・採取)		H26. 7.7	H26. 7.7
地 点 (St.)		香住	居組
水 温 (°C)		22.3	22.4
塩 分		32.5	31.3
貝類の毒化状況 〔マウスユニット/g〕	麻痺性貝毒		
麻痺性貝毒原因 プランクトン	アレキサンドリウム タマレンセ <i>Alexandrium tamarense</i> (個数/ℓ)	0	0
	アレキサンドリウム カテネラ <i>Alexandrium catenella</i> (個数/ℓ)	0	0
	ギムノディニウム カテナータム <i>Gymnodinium catenatum</i> (個数/ℓ)	0	0
下痢性貝毒原因 プランクトン	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/ℓ)	0	0
	ディノフィシス アキュミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/ℓ)	0	0
	ディノフィシス <i>Dinophysis</i> spp. (個数/ℓ)	130	0



<規制の基準>

※麻痺性貝毒: 4 マウスユニット/g
下痢性貝毒: 0.05 マウスユニット/g } を超えた場合

<注意が必要なプランクトン密度>

- ・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)
アレキサンドリウム タマレンセ
Alexandrium tamarense 5,000 個数/ℓ以上
アレキサンドリウム カテネラ
Alexandrium catenella 50,000 個数/ℓ以上
- ・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)
ディノフィシス フォルティ
Dinophysis fortii 50,000 個数/ℓ以上

【今後の情報予定】

- ・8 月の上旬に原因プランクトンの定期調査を予定しています。調査結果がまとまり次第、「貝毒情報 TKD-26-03 号」としてお知らせします。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター (担当: 西川 Tel: 0796-36-0395)
兵庫県但馬県民局但馬水産事務所 (担当: 水産課・水田 Tel: 0796-36-1153)
ホームページ: <http://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm>